



ThreeBond



# JAPANESE SUPER FORMULA CHAMPIONSHIP SERIES

ROUND.2

## RACE REPORT



OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT



## ベテランドライバーとのタッグ

全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズの第2戦が、9月26日(土)～27日(日)にかけて岡山県の岡山国際サーキットで開催された。

ツインリンクもてぎでの開幕戦を12位で終え、ル・マン24時間レースに出走した所属ドライバーのtachiana・カルデロン選手は、日本政府による新型コロナウイルス感染拡大防止の水際対策に基づく日本入国後2週間の自主隔離期間が諸事情より確保できない状況となったため、今回のレースは欠場せざるを得ず、ThreeBond Drago CORSEは代役として塚越広大選手(以下、塚越選手)を起用してレースに臨んだ。

今回も土曜日は専有走行とフリー走行を行い、公式予選と決勝レースは日曜日に行う1day開催である。

## 公式予選

開幕戦で施したセッティングの延長上で岡山国際サーキット向けの持ち込みセッティングをまとめ、9月26日(土)午前の専有走行セッションに塚越選手を送り出した。昨年のシリーズ最終戦以来のスーパーフォーミュラ走行となる塚越選手は、マシンの状態を確かめながらドライコンディションのコースを15周走行し、出走19台中トップタイムから0秒861遅れの11番手でセッションを終えた。

ところが午後2時からのフリー走行セッションは開始直前に振り出した雨によりウェットコンディションで始まり、すぐに雨が上がってコースはドライコンディションへと変わった。チームは予定していたセッティングをまとめ上げるためのメニューはこなせないまま終わってしまった。

塚越選手のラップタイムは出走19台中トップタイムから1秒967遅れの19番手にとどまり、チームはこの結果を受けて、持ち込みセッティングのままでは公式予選を戦えないと判断。翌日の公式予選はフロントサスペンションに新しいアイテムを投入してセッティングを従来とは異なる方向へ大幅変更することに決めた。

翌日の日曜日は、雲が広がるものの晴天となり、公式予選は午前10時40分から始まった。塚越選手は2組に分けて行われた公式予選Q1セッションで出走。10台中、B組6番手につけるタイムを記録しQ2セッションへ進出した。

続いて、出走14台のQ2セッションではトップタイムから0秒998遅れの14番手に終わり、Q3セッション進出はならずスターティンググリッドが決定した。

## 2020年チーム体制

タイトル	氏名
チーム監督	道上 龍
トラックエンジニア	伊与木 仁
データエンジニア	渡邊 信太郎
プロモーションディレクター	足立 守

## ドライバープロフィール



氏名：塚越 広大  
出身地：栃木県 日光市  
血液型：RH AB<sup>+</sup>

## 予選結果

順位	ゼッケン/氏名 タイム
1	#20 平川 亮 1'12.773
2	#36 宮田 莉朋 1'13.109
3	#4 Sacha Fenestraz 1'13.173
14	#12 塚越広大 1'13.644



## 決勝レース

チームは公式予選におけるマシンの状況が良かったことから、リヤにも新しいアイテムを投入して決勝レース向けのセッティングをまとめ、塚越選手をスタートグリッドへ送り出した。

決勝レースは午後3時15分にフォーメーションラップから始まったが、1台の車両がクラッシュしたためスタートディレイとなり、午後3時30分、周回数を50周に減算して改めてスタートが切られた。

スタート直後の第1コーナーで複数台が絡むアクシデントが発生、塚越選手はその混乱を避けるために減速したため、後方からスタートした車両の先行を許したが、前方で脱落車両も生じた結果12番手となってセーフティカーランに入った。今回のレースではレース開始後10周目から50周までの間にタイヤ交換が義務づけられており、レース再開後10周目からタイヤ交換義務を果たすためピットインする車両が続き、塚越選手の暫定的な順位は7番手まで繰り上がっていった。

チームは、塚越を14周目にピットインさせタイヤ交換を行ったが、この間に後続車が先行し、塚越の実質上の順位は12番手まで下がってしまった。その後、塚越選手は上位陣と遜色ないラップタイムを記録しながら先行車に迫ったが、オーバーテイクの難しいコースレイアウトに阻まれて順位を上げることはできず、結局12位でレースを終えた。レース中、塚越選手は出走19台中3番手にあたるラップタイムを記録してチェッカーフラッグを受けている。シリーズ第3戦は10月17日~18日、宮城県スポーツランドSUGOで開催予定だ。




## 塚越選手コメント

出場のチャンスをいただいて、関係者のみなさんに感謝しています。せっかくスーパーフォーミュラの経験を持っている私が乗るのであれば、チームが試したいことをやってみましょうと提案して、セッティングを大幅に変えていきました。レースでは完走してしっかりデータを持って帰ることを念頭に走りました。クルマをもう少し熟成して予選一発のタイムを向上させることができれば、レースではもっと上のポジションで戦えるようになるという手応えはありました。今回のデータが、今度タチアナ選手が来日して走るとき、良い方向へつながると良いなと思います。



## 道上監督コメント

タチアナ選手が出られないことになったので、塚越選手に乗ってもらって、良いデータが取れたと思います。スーパーフォーミュラの経験が豊富な塚越選手が乗ってもペースが良くなかったのが自分たちのチームに足りないところが少しわかりました。レースではインフィールド区間でリヤの安定感が足りず、タイヤを換えた直後は良かったけどその後は辛かったようです。ピットインのタイミングはどうしようかと迷いました。10周目ですぐ入ることも考えましたが、結構良いペースで走っていたので、少しもったいないことをしてしまいました。



## 伊与木エンジニアコメント

土曜日の午後は、持ち込んだセットが完全に外れていて少し焦りました。これまでのセットが岡山には合わなかったのです。従来のセットは、タチアナ選手はもちろん、他のドライバーにもテストで乗ってもらってそれなりに速かったのでその延長で今回も戦おうと思いましたが、でも新しいことにチャレンジしようと監督とも相談して、予選に向けて新しいアイテムの投入を決めました。レースでは後ろの方でしたけど、塚越選手は「別物になった」と高く評価してくれたので、今後に向けて新しい方向が見え、これを煮詰めていこうと思っています。レースでは今回上位車両と遜色ないペースで走れたので、タチアナ選手にも安心して乗ってもらえると思います。




## レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	39	坪井翔	JMS P.MU/CERUMO・INGING	1h13'11.975
2	38	石浦宏明	JMS P.MU/CERUMO・INGING	1h13'12.757
3	1	Nick Cassidy	VANTELIN TEAM TOM'S	1h13'15.078
4	20	平川亮	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	1h13'17.554
5	19	関口雄飛	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	1h13'20.327
6	5	山本尚貴	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1h13'20.615
7	18	国本雄資	carrozzeria Team KCMG	1h13'31.161
8	6	福住仁嶺	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1h13'32.434
9	36	宮田莉朋	VANTELIN TEAM TOM'S	1h13'33.208
10	16	野尻智紀	TEAM MUGEN	1h13'33.855
11	7	中山雄一	carrozzeria Team KCMG	1h13'38.344
12	12	塚越広大	ThreeBond Drago CORSE	1h13'40.253
13	15	笹原右京	TEAM MUGEN	1h13'44.925
14	50	高星明誠	Buzz Racing with B-Max	1h14'09.534
15	65	大湯 都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	1h14'09.936
16	14	大嶋和也	ROOKIE Racing	1h14'14.138
DNS	4	Sacha Fenestraz	KONDO RACING	—
DNS	64	牧野任祐	TCS NAKAJIMA RACING	—
DNS	3	阪口晴南	KONDO RACING	—



## Drivers Ranking

順位	ドライバー	1	2	3	4	5	6	7	合計	点差
		もてぎ	岡山	SUGO	AP	鈴鹿	鈴鹿	富士		
1	平川亮	3+20	3+8						34	—
2	坪井翔	0	20						20	14
3	石浦宏明	3	15						18	16
4	山下健太	1+15	-						16	18
5	Nick Cassidy	5	11						16	18
6	Sacha Fenestraz	2+11	1(QF)						14	20
7	福住仁嶺	6	3						9	25
8	中嶋一貴	8	-						8	26
⋮										
	Tatiana Calderon	0	-						0	34

\*表中ポイント数字の左側：予選ポイント 右側：決勝ポイント

## Team Ranking

順位	チーム	1	2	3	4	5	6	7	合計	点差
		もてぎ	岡山	SUGO	AP	鈴鹿	鈴鹿	富士		
1	JMS P.MU/CERUMO・INGING	3	35						38	—
2	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	20	14						34	4
3	KONDO RACING	26	0						26	12
4	VANTELIN TEAM TOM'S	13	13						26	12
5	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	6	8						14	24
6	TEAM MUGEN	4	1						5	10
7	carrozzeria Team KCMG	0	4						4	8
8	TCS NAKAJIMA RACING	2	0						2	
⋮										
12	ThreeBond Drago CORSE	0	0						0	38